



○生徒が主体的に学べる仕掛けがあったか。

- ☆座標平面に令を1つ示したことで、とりかかりやすかった
- ☆式から表へ表からグラフへという流れで指導できた
- ★グラフを書く目的がはっきりした（社会の中ではグラフを読み取る力が必要）
- ★黒板に示した座標平面を生徒の手元に配っていたが、完全に同じものではなかった

○課題を追求する段階で、教師のファシリテートはどうだったか。

- ★「マイナス」を省略して発音してしまっていた
- ? グラフの基本はどの段階で確認する？
- ★導入で日常生活につなげず、いきなり式を書いてしまった
- ★生徒のやるべき行動をフキダシなどで明示すればよかった 点を打つ

○交流場面において、生徒が多様な意見を認めることができるような工夫があったか。

- ☆活動が少ない班に入り込んで助言することができていた
- ☆生徒にオリジナルの式を自分で考えさせた
- ★作業の時間設定がなかった
- ★一番学習についていけない生徒にまず声をかけるということができなかった

○生徒が自分の言葉で学びを振り返ることができていたか。

- ☆黒板に書かれた「グラフの特徴」を使って自分のまとめにすることができていた
- ★まとめをする時間が足りなかった
- ★負の数の場合のグラフの特徴に触れられていなかった（時間が足りなかった）

○その他 （生徒の姿からの気づき等）

- ・軸に数字をふった方が親切なのでは